

安全の見える化プロジェクト

〇〇〇〇〇〇〇株式会社

人事本部HRコンサルティング部

■フライオイル交換時の安全対策

□ 安全装具



①フェイスシールド

②耐熱エプロン

③グリル・フライヤー
用清掃手袋

□ 廃油運搬用器具（カムカムハンガー）

カム溝に正しく入れる。



正しくロックする。



■ 厨房内での転倒事故防止対策

□ ○○○○専用の掃除用具



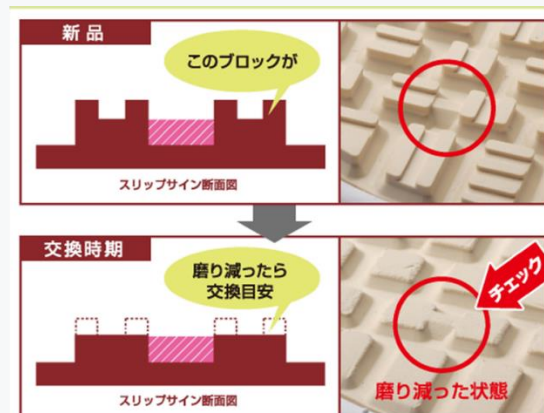
□ タイルノンスリップ加工



□ 清掃用具・洗剤のサプライヤーが行う店舗MGR向けの講習会



□ 安全靴の交換タイミングの告知



交換時期がきたら新しいハイグリップに履き替えましょう!

- モップがけの頻度：5回/日
- ランチとディナーの前後、閉店時または深夜営業中

■従業員に対する安全教育

□ 新人従業員への安全に関する教育（マニュアルの活用）

■転倒防止・廃油の扱い等

■安全な運搬・安全装具等

セーフティ 転倒防止と安全な運搬



□ 転倒防止

フロアが水や油で濡れていると、滑って転倒し、ケガをする可能性があり、とても危険です。
転倒を防ぐ方法について説明します

フロアは乾拭した清潔な状態に維持する
フロアが乾拭できるように、ピーク清掃等の方法でフロアにセップをかけます。



※清掃作業の終了については、(259P)を必ず読んでください

フロアマットは履物と草屑にさらしておく
マットの端が突き出ている、垂れ下がっている、つまみたり、転倒しおそれがある、フロアマットは安全時にきれいに清掃します。

こぼれたものはすぐに拭き取る。
フロアを歩くと靴が滑るため、濡れたセップ(濡れたセップではなく)またはペーパータオルを置きます。

濡れたフロアを乾拭したら、その場にとどまって、「通行を遮断するお告書」に「濡れた」を貼りやすくなっておりますので、お気を付け下さいなど声をかけて「注意」を促しつつ、既製品「注意プレート」とセップを持ってきてくれるよう他の従業員に依頼します。



突っ当っているフロアは、濡れているか「滑り」の恐れがあるため、滑りやすい状態です。デンクブラシと適切な乾拭剤を使用して、水分と汚れを取り除きます。



乾拭し、濡れている箇所には滑り防止のために紙を敷きます。



履物で滑るときは、滑り防止のついた靴や滑り靴(ノンスリップシューズ)を履いてください。そのような履物は履かないでください。



- 靴底が平
- ハイヒール
- つま先が削れている(サンダルなど)
- 滑り(かかと部分)が削れている

マクドナルド指定のノンスリップシューズがありますのでマネージャーに依頼してください。

□ 廃油の取り扱い

廃油の移動に際しては、こぼれた廃油が皮膚に飛んで「重度」の火傷を負う可能性がありますので、「手」が「注意」を払います

- 指定ハンダーが保護にあれば、それを正しく使用します
- 指定ハンダーを「着用」します
- 指定の扉にハンダーの爪を深くあててしっかりと握ります
- ハンダーの使用は手の上げ下ろしのみとし、運搬は専用カートもしくは容器を使用します
- 容器「注」は傾いたり、こぼれたりすると、火傷や、皮膚炎が原因、傷りの原因にもなるので、十分注意をしながら、注意をもって移動します

□ 台車の取り扱い



- 容器の積載「量」をオーバーすると、乗降時に、油の刃に当たってケガを負ったり、「滑」の恐れに当たって怪我をまじうことがあるので、「積載」量を超えた積載は行わないようにします
- 移動は必ず「安全」な姿勢で行い、歩幅は「規定」で行います
- 移動「時」は非常「時」にあつている状況「上」の従業員は歩行者などの周囲の安全確認を実施してください

セーフティ 転倒防止と安全な運搬



□ 安全な運搬

正しい運搬テクニックのお手本を示します

こうやって持ち上げよう



膝を曲げて持ち上げる

こうしてはいけません



背骨を曲げて持ち上げない



膝が見えるようにする



背骨に当たる「重量」は肩油に持ち上げない。二人で持つには背通すときは、手助けを要す



手が届かないときは、脚立やはしごを使う



壁の上にある荷物を手を伸ばしてとろうとしない

必要な場合は、手助けを必ず受けて「安全」な方法で重い荷を持って「注意」や「注意」を払って移動してください



ひおらない

□ 化学薬品は注意深く使う

洗剤などの清掃用品のラベルを読むことが重要です。必ず「目的」にあった正しい化学薬品を使って、適切な清掃や洗浄を確実にを行います



化学薬品は絶対に混ぜないでください
洗剤「期」が中に書かれている場合は、食品に「汚」れないように「注意」してください



ラベルを読みます
使うときに「注意」を要する必要があります
必ず「ラベル」を読んでください

※「期」については、(259P)を必ず読んでください

□ 安全装具

安全眼鏡の正しい着用方法を必ず「必ず」安全眼鏡を身につけてください。
作業の性質によっては、保護服のため、次のような安全装具が必要です。



- フライオイルをフィルタリングまたは清掃するときは、「必ず」指定手袋、エプロン、フェイスシールドを「着用」します。
- 容器の蓋を開けてダレンの「重量」的な作業をするときは、グローブを「着用」します。

□ その他注意すること

店内設備

- 壁や天井の設備前で作業しようものがあると、落下によりケガを負う可能性がありますので、作業の開始・終了を中止し、設備などの稼働をマネージャーに依頼してください。
- 椅子、テーブル、ドア、その他設備などに接触・ぶつきのなどの不具合が少しでもあると、緊急の修繕をする可能性がありますので、「注意」し、使用「時」止や「注意」などの稼働をマネージャーに依頼してください。
- 店舗作業の完了確認が済んでいないと、人がおぼつかずに転倒し、怪我をする可能性がありますので、注意を「注意」してください。

■その他安全に対する取組

□ パススルー式冷凍庫の導入

- ・原材料の品質保持と従業員の搬入による転倒や腰痛防止策として導入を進めている



← 店舗厨房側から見た扉

- ・**反対側の外部側から直接冷凍庫に搬入できる**

□ 第二種衛生管理者免許取得促進

- ・毎月1回 講師を招き第二種衛生管理者免許取得のための講習を開催している。